

物流や来客数などに広く影響

1 月の大雪を振り返って

富山商工会議所

1. 調査の目的

1 月末の大雪は県西部を中心に「五六豪雪」以来となる記録的なものになり、JR が終日運休止、北陸自動車道が福井県内などで通行止めになるなど生活に大きな影響が出た。こうした中、当所管内の経済活動にどのような影響があったか、経営者が行政や関係機関に対してどのような要望を持っているかなどについて緊急アンケート調査を実施した。

今回の大雪について全体的には、マイナスの影響があったと感じている事業所が約 6 割に上った。影響はあまりないとする事業所でも、具体的な影響として、物流の停滞や従業員の通勤の遅れなどによる経営への影響を挙げる事業所が多かった。

プラスの影響としては除雪器具、長靴、貼布剤（薬）、温かい汁物料理（レストラン）、即席食品などの売り上げが伸びた。マイナスの影響は物流・通勤関連以外では、除雪排雪費用の増加、集客減少による売上減、建設工事の遅れ、観光イメージの悪化などが目立った。

行政・交通機関などへの要望では、除雪の早めの対応、道路状況などの詳しい広報などを求める声があった。

2. 調査方法

(1)調査対象...当所議員 130 事業所《回答数 78 (回答率 60.0%)》

ファックスで依頼・回収、一部電話などでヒアリングした。

(2)調査期間...平成 23 年 2 月 3 日(木)~7 日(月)

(3)回答事業所の業種内訳

業 種	事業所数	構成比 (%)
製造業	22	28.2%
建設業	7	9.0%
卸売業	19	24.4%
小売業	12	15.4%
サービス業	18	23.1%
合 計	78	100.0%

(1月の気象データ: 富山地方気象台調べ)

富山地方気象台が発表した1月の気象状況によると、富山県内は全域で例年より低温・大雪だったことが明らかになった。特に県西部での降雪が多く、積雪は平年の2倍を超える量を記録した。

同気象台によると、平野部各地では、1月31日にこの冬の最深積雪を記録。富山市では、77センチ(平年比約1.4倍)だったが、氷見市で統計開始以来最高の112センチ(同3.0倍)だったほか、高岡市伏木で127センチ(同2.5倍)、砺波市で116センチ(同2.3倍)となった。

一方、1月の平均気温は、富山市で1度(平年比マイナス1.5度)、高岡市伏木で0.4度(同マイナス2.3度)など、すべての観測地点で平年より2度前後低い気温だった。

県民の生活への影響が見られたのは1月末、強い冬型の気圧配置と寒気が流れ込んだため、31日にかけて県内は大雪に見舞われた。除雪が間に合わず、県内を走るJR各線が終日運休したり、富山市内の路面電車が午前中に運転を見合わせたりするなど、県民の足は大混乱した。学校の休校も相次いだ。県は雪害に対する全庁会議を27年ぶりに開いた。

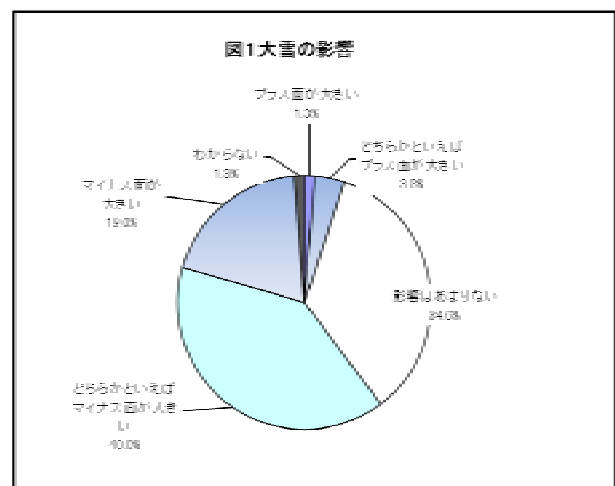
1月の気象データ比較表(富山)

	月平均気温()	月降水量(mm)	月間日照時間(h)
2011年	1.0	346.5	33.4
平年値	2.5	255.4	66.4
平年値との差(増減)	1.5	91.1(+36.0%)	33.4(50.0%)

3. 調査結果の概要

今回の大雪が生産や営業活動に影響があったどうかを尋ねた結果が図1である。これを見ると「どちらかと言えばマイナス面が大きい」が40.0%でもっとも多かった。「マイナス面が大きい」の19.0%を加えると59.0%となり、約6割の事業所にマイナスの影響を与えたことがいえる。「プラス面が大きい」「どちらかと言えばプラス面が大きい」はそれぞれ1.3%、3.8%にとどまった。

全体的には、大雪の期間が長く続かなかったことや、富山市内では県西部などに比べ少なかったことなどから、大きな影響は少なかったと見る声が多かった。しかし物流の停滞や来客の減少などへの影響は広く挙げられており、行政・交通機関には除雪の迅速化、通行止めなどの道路状況の詳しい広報を求める意見が目立った。



4．よく売れたもの・売れなかったものと具体的影響

具体的な影響をフリーアンサーで回答いただいた主なものは以下の通り。影響はあまりないとする事業所でも、鉄道・道路が乱れたことによる物流の停滞や従業員の通勤など遅れなどの経営への影響を挙げる事業所が多かった。

建設業・製造業

【プラス】

- ・太陽光発電システムのトラブル対応の業務が増加した。
- ・除雪等により貼布剤（医薬品）の使用者が増加することが予想される（腰痛などの対処として）。

【マイナス】

- ・業務の特徴上、屋外作業が多く、悪天候時には大きく悪影響を及ぼしている。
- ・雪の影響で板金工事ができないため、生産量・工事量に悪影響。
- ・協力業者が自治体からの依頼によって除雪・排雪作業を優先しなければならない場面もあり、これも工程への影響が出た。
- ・道路封鎖による物流の影響と、JR 不通による通勤や出張への影響。
- ・スリップ事故等による従業員の通勤途中災害が発生した。
- ・会社構内・駐車場などの除雪・排雪費用が増加した。

卸売業・小売業

【プラス】

- ・即席食品の販売量が増えた（除雪に時間を取られた）。
- ・ガソリン・灯油・LP ガス（暖房用）の販売量が増えた。
- ・今後、雨樋の破損が多くなり、修理需要が高くなることが予想される。
- ・長靴、除雪用具、暖房器具の販売が好調。
- ・パン、菓子、鍋物材料が普段より多く売れた。

【マイナス】

- ・売上減少による資金繰りの悪化が懸念される。
- ・交通事故による車両修繕費の発生。
- ・外食産業が振るわず、どちらかというと「家食」に向けた。
- ・セメント、生コン等の工事資材の販売が不振。
- ・大雪が続けば従業員の通勤や営業マンの外回りに時間がかかり、交通事故も注意しなければならない。
- ・JR 等の交通機関がマヒすれば（営業マンが）県外顧客の所に行くことができなくなる。
- ・雪の影響で客足が落ちた日（特に土・日曜日）が多かった。
- ・名古屋方面、大阪方面からの商品の延着。
- ・産業観光バスツアーのキャンセルが相次いだ（冬の北陸への観光イメージ悪化につながる恐れがある）。

サービス業・その他

【プラス】

- ・温かい汁物などのメニューがよく出た（中華料理）。
- ・スキー場関連で収入増。

【マイナス】

- ・フリーのレストラン利用減。
- ・宿泊予約のキャンセルが発生。
- ・OL・学生など、早めの帰宅で来店者数が減った（卸売業・小売業）。

6．行政・交通機関等に対する要望

- ・大雪への早めの対応をお願いしたい。
- ・大雪は地域的に偏り（集中）が有るようなので、道路状況を詳しく広報してほしい。
- ・道路の除雪について今後どう進めるのか、仕組みを検討する必要があるのではないか。
- ・建設業なので道路除雪には当社も協力しているが、かなりの負担を感じている。行政には大雪時の柔軟な予算執行を望みます。
- ・物流のほか給電などのインフラの保全を要望したい。
- ・JRの全列車が運休するとは考えられないことだ。過去にこの程度の雪は何回も体験しているはずなのに。

以上